

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (令和3年度実績)

提出区分	実績	整理番号	6	課題区分	C
横断的な課題	清らかな水と高い晴天率を誇る佐久地域の豊かな資源を活かしたゼロカーボンの推進				
地域重点政策	意欲ある地元企業との連携と情報発信				佐久地域振興局
実施機関	佐久地域振興局(環境・廃棄物対策課)			担当課	環境・廃棄物対策課
事業名	地域循環共生圏創出に向けた再生可能エネルギー情報発信・体制整備事業(佐久地域ゼロカーボン推進事業)			所属	環境・廃棄物対策課
				電話	8-233-351
				E-mail	sakuchi-kankyo@pref.nagano.lg.jp
目的 (目指す姿)	再生可能エネルギーの地産地消を推進し、地域循環共生圏を創出する。				
現状と課題	佐久地域は、水資源に恵まれるとともに晴天率が高く、小水力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用率が非常に高い地域である。そのような発電要素が数多くあるが、個々での取組が主体となっており、地域全体での再生可能エネルギー活用の現状把握並びに地域内での循環利用の取組に向けた機運の醸成及び市町村や事業者等との連携が課題である。個々の取組から地域全体での取組に繋がられるよう連携体制を整備するとともに、再生可能エネルギー活用の機運を醸成するための情報発信を進める必要がある。				
内容 (変更後の内容)	(1) ゼロカーボン推進のための地域循環共生圏創出に向けた体制整備 県内外及び佐久地域における先進事例(「信州Greenでんき」等)の学習や、ZEB化へ取り組む企業等や専門家を招聘するワークショップを9月から3月にかけて2回開催 [5回開催予定であったが、新型コロナの影響のため2回のみ開催に] ①企業局・公共セクター関連の事業(対象者:市町村、発電事業者、地域企業、金融機関) ②ZEB化推進・地中熱利用(対象者:市町村、地域企業、金融機関) ③大規模ステークホルダーの事業事情(対象者:太陽光事業者、市町村、地域企業、金融機関)[新型コロナで中止] ④地域ビジョン・公共部門の先導(対象者:市町村、地域企業)[新型コロナで中止] ⑤地域におけるエネルギー関連事業の可能性(対象者:市町村、地域企業、金融機関)[新型コロナで中止] (2) 次世代への学びの支援及び次世代の参画による情報発信コンテンツ作成 2050年に主役となる次世代(高校生等)の参加を得ながら、再生可能エネルギー施設やエネルギーの地産地消事例等を情報発信 ①動画作成(「信州環境カレッジ」への掲載) ・ラジオによる情報発信、動画(3本程度/年)の作成委託、動画作成過程のラジオ番組放送 ②「ゼロカーボンを達成した2050年あなたの街」未来予想図(イラスト)作成 ・佐久市市民向け特別講演会(知事出席)等での展示[新型コロナで中止]、イラスト電子データのイベント時活用				
事業期間	令和3年7月		～	令和4年3月	
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	ゼロカーボン佐久情報発信コンテンツ作成事業	動画作成 イラスト作成	577,500		
	ゼロカーボン佐久ワークショップ事業	先進事例の学習等を目的としたワークショップを開催	0	オンライン開催により、予算執行無し	
合計			577,500		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	ワークショップ参加企業(2年間)		5社	11社	<input type="radio"/> 達成
					<input checked="" type="radio"/> 一部達成
					<input type="radio"/> 未達成
事業実績・成果	地域全体での再生可能エネルギー活用の現状把握並びに地域内での循環利用の取組に向けた機運の醸成及び市町村や事業者等との連携のために、ステークホルダーとなる事業者との連携ができつつある。また、再生可能エネルギー活用の機運を醸成するための動画の作成や子どもたちのアイデアによる未来予想図を作成する情報発信手段を作成することができた。ただし、新型コロナの影響により、開催回数の減少やイベントでの利用機会が減少した。				
今後の方向性	事業者と構築できた繋がりを、次年度以降の連携に活かしていく。また、作成した情報発信手段を利用した情報発信にさらに努めていく。				